

2019/6/7

神代植物公園

植物多様性センターの「コモチマンネングサ」

コモチマンネングサは園芸でよく栽培されるセダムの仲間で珠芽(むかご)が付くのが一番の特徴です。花は初夏に咲きますが、種子は出来ずに珠芽で増えます。マンネングサの仲間はメキシコマンネングサやツルマンネングサなど外来種が多いのですが、本種は在来種です。学習園にはマンネングサ属の在来種として、タイトゴメが伊豆ゾーンの海岸砂地エリアにあり、こちらの花は初夏から夏にかけて咲きます。



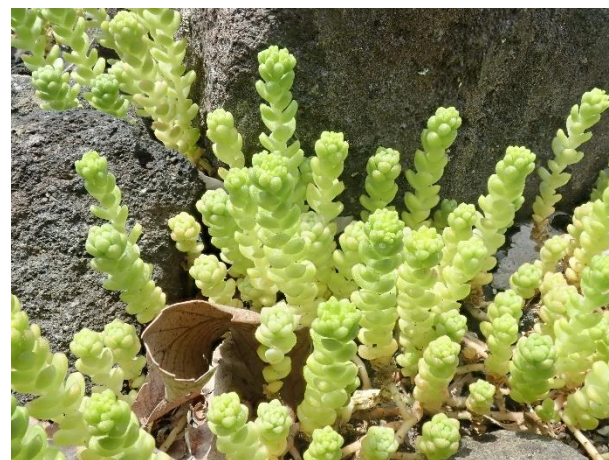
小さいがよく見るとかわいい黄色い花が咲く。



葉の脇にある珠芽は触ると簡単に落ちてしまう。



珠芽は梅雨の頃に落ちて根を出し、そのままの大きさに冬を越す。



伊豆諸島ゾーンのタイトゴメ。こちらも花の時期は初夏。